

令和3年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]

小規模企業景気動向調査 第1四半期 (R3年4~6月)

①業種及び地域別景気動向

業種	製造業		建設業	卸・小売業			サービス業			
	食料品等	機械金属		耐久消費その他	食料品	外食	旅館	理美容その他	運輸	
町	売上額	↗☀	→☀	↗☀	↘☁	↗☀	↗☁	↗☁	→☁	↗☁
	仕入単価	↘☂	↘☂	↘☂	↘☂	→☁	↘☁	→☁	↘☁	↘☂
内	採算	→☀	↘☁	↗☁	→☁	→☀	→☂	↗☁	→☁	↗☁
	資金繰り	↘☁	↘☁	→☁	→☁	→☀	→☂	→☁	↘☁	↗☁
	業界の業況	↗☀	→☁	↗☁	↘☁	→☀	→☂	→☂	→☁	↗☁
北信	↗改善		↗改善	↗改善		↗改善	↗改善		↗改善	
県内	厳しい状況が続いているが、持ち直しの動きがみられる									
全国※	-43.6↗	-20.4↗	-52.8↗	-82.7↗	-45.9↗	-50.6↗				

(※ 景況DI値で表示、+値が大きいほど好調)

②景気動向報道及び特記事項

《町内》

今年もGWによる集客が見込まれなかった(宿泊業)

ウッドショックによる納品の遅れにより工期遅延し資金繰りが悪化している(建材卸業)

ワクチン接種により既存客の出戻りを期待したい(飲食業)

《北信》

コロナ禍で輸出がストップしていた製品が3月以降、急速に回復し大幅に増加(測定機器製造)

災害関連や国土強靱化の後押しで受注は順調。建築は民間工事の意欲低下(総合建設業)

コロナ禍で来店客数の減少に歯止めがかからない。ネット通販へ移行を検討(衣料品小売業)

コロナ禍で空きテナントが増加。家賃の引き下げ要望の可能性ある。(不動産業)

《県内》

自動車電動化を機に県内製造業の強みを伸ばす。

《全国》

小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にある

産業全体：建設業を除き大幅な改善となるも、先行き不安な小規模企業景況

製造業：回復基調が加速するも、原材料価格高騰が懸念される

建設業：ウッドショック等により価格高騰の影響が続き、横ばいに留まった

小売業：大幅な回復に転じたが、需要転換への対応が課題

サービス業：横ばいから大幅改善に転じたが、今後も油断できない

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」